

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2006-208972(P2006-208972A)

【公開日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2005-23626(P2005-23626)

【国際特許分類】

G 02 F 1/1345 (2006.01)

H 05 K 1/14 (2006.01)

H 05 K 3/36 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/1345

H 05 K 1/14 C

H 05 K 3/36 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月15日(2007.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液晶表示素子基板とテープキャリアパッケージ基板又はフレキシブルプリント回路基板とを接続する液晶表示装置の製造方法であって、

接続する液晶表示素子基板の電極にのみ導電性微粒子を配置し、絶縁性樹脂を用いてなる樹脂バインダーを介して、液晶表示素子基板の電極とテープキャリアパッケージ基板又はフレキシブルプリント回路基板の電極とを電気的に接続することを特徴とする液晶表示装置の製造方法。

【請求項2】

導電性微粒子はインクジェット方式により配置することを特徴とする請求項2記載の液晶表示装置の製造方法。

【請求項3】

液晶表示素子基板の電極に、絶縁性樹脂を用いてなる樹脂バインダーを塗布した後、導電性微粒子を配置することを特徴とする請求項2記載の液晶表示装置の製造方法。

【請求項4】

液晶表示素子基板とテープキャリアパッケージ基板又はフレキシブルプリント回路基板とが接続されてなる液晶表示装置であって、

接続される液晶表示素子基板の電極にのみ導電性微粒子が配置され、液晶表示素子基板の電極とテープキャリアパッケージ基板又はフレキシブルプリント回路基板の電極とが電気的に接続されてなることを特徴とする液晶表示装置。